

附録第二

作戰計畫ノ大要

一 作戰方針

戰備ノ重點ヲ「アラカン」山系以西要域ニ保持シ陸海正面ヨリ反攻
スル敵ヲ向山系以西ノ地域ニ於テ拒止撃擄ス
航空及海軍ト密ニ協力ス

ニ 指導ノ概要

其ノ一 海 正 面

作戰指導ノ的確ヲ期スル爲沿岸地域ヲ甲乙丙三地域ニ區分ス

(イ) 甲地域ハ沿岸防備ノ支拂タルベキ要域トシ來攻スル敵ヲ水際ニ於
テ撃滅シ得ル如ク之ニ適應ノ兵力ヲ配備シ要域其ノ他諸敵備ヲ迅
速ニ強化ス

甲地域トシテ指定ヤル要域及其ノ配備兵力左ノ如シ

「アキヤブ」 「ゴロンガ」 要域 歩三大砲一大基幹

「ラムレ」 「チエドバ」 要域 歩五大砲二大基幹

「バゴダポイント」 要域 歩二大砲一大基幹

(ロ) 乙地域ハ甲地域ニ準ズル沿岸防衛上ノ要地ニシテ來攻スル敵ヲ極力水際ニ於テ殲滅スルト共ニ爾他正面ヨリ兵力ヲ集中シテ敵ヲ殲滅ス

乙地域トシテ指定セル地域左ノ如シ

「マユ」半島地區

「サンドウエイ」地區

「グワ」地區

(イ) 内地域ハ甲乙地域以外ノ地域ニシテ沿岸ニ所望ノ監視線ヲ構成シ敵ノ小企圖ノ破挫ヲ圖ルト共ニ有力ナル敵ノ來攻ニ際シテハ他正面ヨリ集中スル兵力ヲ以テ陸上ニ於テ之ガ殲滅ヲ圖ル

其ノ二 陸 正 面

(1) 「ブチドン」―「モンドウ」附近ノ要線ヲ確保シ來攻スル敵ヲ拒止撃挫スルト共ニ「カラダン」河谷ヲ成ルベク遠ク領有シ東部印府ニ對スル壓迫態勢ヲ強化ス

(2) 「ウ」號主作戰開始ニ先立チ機ヲ見テ「マユ」河谷方面ヨリ短切ナル攻勢ヲ採リ「ポリバサー」南側地區ニ於ケル敵ノ根據ヲ殲滅

シ敵ヲ本正面ニ牽制スルト共ニ爾等ノ荷重作戦ノ實效ヲ容易ナラシム

部署ノ大安

三重隊區分

第五十五師團

配屬部隊

第三十三師團ノ歩兵一大隊（ $\frac{1}{2}$ 213）

獨立速射砲隊十四大隊（一中隊ト一小隊缺）

野戰重砲兵第三聯隊ノ一中隊（九六十五榴）

野戰高射砲第三十五大隊ノ一中隊

船舶工兵第四聯隊第三中隊

渡河材料隊中隊

獨立騎重兵隊五十一大隊ノ二中隊（晚馬編成ナリシモ其馬及乗

鞍送附ニ改修）

其ノ他後方部隊ノ一部

第五十四師團

配屬部隊

獨立速射砲隊第十四大隊ノ一中隊ト一小隊

缺隊部隊

工兵一中隊

第二師團

缺隊部隊

歩兵第四聯隊

野砲兵第二聯隊ノ一大隊（Ⅱ）

工兵第二聯隊ノ一中隊

軍直轄兵站部隊

策糧送隊

第百十八兵站病院

緬甸方面軍各種給糧ノ一部

（細部略）

各師團ノ任務

第五十五師團

(イ)「アキヤブ」島(含マズ)以北地域ノ防衛ニ任ズ

(ロ)「ウ」號主作戰開始ニ先立チ「マユ」河谷方面ニ於テ主力ヲ以テ

短切ナル攻勢ヲ採リ「ボリバサー」南側附近敵ノ根拠ヲ掃滅スル、

ト共ニ敵ヲ本正面ニ索制ス

作戰終了後ハ別命ナキ限り「ブチドン」「モンドウ」附近現裡

附近ニ態勢ヲ整理シ爾後ノ作戰ヲ續行スルモノトス

作戰發起ノ時機ハ二月十日頃ト豫定ス

第五十四師團

「アキヤブ」島以南「タウンガツブ」附近ニ百ル海正面ノ防衛ニ

任ズ

隨時歩兵約二大隊砲兵約一大隊ノ兵力ヲ以テ五十五師團正西ニ又歩

兵約一大隊ヲ以テ二師團方面ニ轉用シ得ルノ準備ニアフシム

第二師團

「サンドウエイ」附近以南海正面ノ防衛ニ任ズ

師團主力ノ到着ニ伴ヒ歩兵約二大隊砲兵約一大隊ヲ隨時本正面ニ

轉用シ得ルノ準備ニアフシム

0830

兵作戦地域

附圖第一配備要圖ノ如シ

六 築 城

(1) 甲乙地域ニ於ケル築城ハ配備兵力ニ應ズル陣地ヲ構築スルモノトシ各師團ノ擔任トス

之ガ爲配屬セフレタル南方軍築城部領甸支部ノ主力ヲ第五十四師團ニ各一部ヲ第二第五十五師團ニ配屬ス

(2) 爾後ノ作戦ニ即應シ得ル如ク「ブローム」―「タウンガツプ」道ニ沿フ地區ノ要地ニ歩兵約三大隊他兵約一大隊ヲ配備シ得ル如ク敷線ニ陣地ヲ構築ス

其ノ實施ハ沿岸ニ於ケル築城樹成後トス

(3) 築城ハ主トシテ所在物料ヲ利用シテ堅固ナル野戰陣地ノ確保ヲ保
有セシムルヲ目途トシ一部ハ軍ヨリ交付セル資材ニヨル

(以下略)

「註」

一 本作戦計畫ハ軍編成後約二ヶ月ヲ經タル三月下旬ニ全ク決定

セルモノニシテ當初ハ緬甸方面直ノ西南沿岸方面ニ對スル防
衛計畫ヲ踏襲セリ

ニ本計畫ニ於テハ沿岸約七〇〇村ニ及ブ長達ナル海岸ノ防禦ト
之ニ連接スル陸正面ヲ兼有スル軍ノ特性ト沿岸ノ兵要地誌的
特色トニ鑑ミ可能ノ範圍ニ於テ水陸機動ヲ企圖スル甲地域ヲ
明示スルト共ニ乙丙地域ニ於ケル配備作戰要領ノ準據ヲ明示
シテ作戰思想ノ統一ヲ圖リ以テ作戰指導ノ的確ヲ期セリ

0832